

## 神道政治連盟愛知県本部結成 45 周年記念総会 開催



神道政治連盟愛知県本部では、9月3日、熱田神宮会館にて神道政治連盟愛知県本部結成45周年記念総会を開催し、県内神社関係者並びに議員など総勢426名が参加した。

開会に先立ち神宮遥拝、国歌斉唱、神政連宣言綱領唱和の後、神道政治連盟愛知県本部服部憲明会長が挨拶され、昭和21年5月8日に結成されてから45年、神道指令により難局を極めた情勢下、その歪められた精神を一刻も早く回復するために尽力してこられたものの、悲願である憲法改正にはまだ道は長い。その中で、美しい日本の憲法をつくる愛知県民の会の拡大運動を進めていくことと、来る参議院議員選挙で神政連推薦候補者を組織を挙げて応援していくことを柱として進めたいと述べられた。続いて記念表彰が行われ、支部内での神政連会員数が規定に達した支部12支部が表彰された。



この後、神道政治連盟中央本部会長の挨拶では長曾我部延昭会長が、戦後70周年にあたり、両陛下がペリリュー島に慰霊されたことや安倍談話に触れるとともに憲法改正の推進や来る参議院議員選挙の応援協力について述べられた。続いて愛知県神社小串和夫庁長が、戦後体制の歪みを、神社界・神政連が中心となって正していきたい旨を述べられ、地元選出の参議院議員自民党愛知県連藤川政人会長が現在の安保法案の進捗状況の報告とその推進に全力で

取り組む決意と共に、日本の良き伝統を後世に伝えるために尽力することを述べられた。なお、来賓として、長曾我部会長、小串庁長、藤川議員を始め、県内選出の国会議員並同秘書、県議会議員、名古屋市議会議員など数多くの方々が参会された。

引き続いての講演では、日本会議会長、杏林大学名誉教授の田久保忠衛先生が「憲法改正、最後のチャンス逃すな！」との演題にて講演され、「侵略」「植民地」「謝罪・お詫び」をキーワードに、国際政治的側面より日本の置かれた現状を説明され、中国を中心とした東アジア情勢に対する提言とともに、万世一系の皇室の存在と神道の存在こそが世界に最も誇れるものであると説かれ、現在こそが憲法改正の絶好のチャンスであるため、この機会を絶対に逃さず皆で推進すべきであると結ばれた。その後、聖寿万歳三唱により本会は閉会となった。なお続いて記念祝賀会が開催され、記念総会の参加者が懇親と親睦を深めあった。